

キーワード（新感染症の基礎知識「筒井書房」から）

流水に勝る消毒剤はない

感染が起こるのは、菌の数が一定量を超えた時。

菌数を減らすことが感染防止につながる。

流水で菌を洗い流すことは、最も身近で有効な感染防止対策。

手洗いを確実な方法で

できるだけ石鹸を使う。

流水下で強めにもみ洗いすれば短時間でほとんどの菌は除去できる。

もみ洗いの基本

- 1・手のひらをよくこする
- 2・手の甲をこすり洗い
- 3・指先を入念にこする（爪先）
- 4・指の間を十分に洗う
- 5・親指と手のひらをねじり洗い
- 6・手首も洗う

消毒剤使用時

消毒剤を使うときにも、

まず流水で洗ってから使ったほうが効果的。

0-157について

病原性大腸菌0-157の特徴

1. 食物や水などにより、口から感染します。菌は便の中に出てきます。
2. 感染力や毒力は「赤痢菌なみ」といわれています。
3. 感染から発病までの期間（潜伏期間）は4～8日です。
4. 症状の多くは激しい腹痛にはじまり、水のような下痢が起こります。症状が重くなると下痢の回数が増し、便に血が混じります。
5. 赤ちゃん、子供、お年寄りでは、溶血性尿毒症症候群を併発して重症になることがあるので特に注意が必要です。

感染したり、感染が疑われる時

1. 第一に医師の診察を受けましょう。
2. 患者の便を処理するときは、使い捨てのゴム手袋を使用します。特におむつ交換時の汚染に十分気を付けてください。
3. 患者の便に触れてしまったときは、流水で十分手を洗った後、アルコール、ウェルバース、オスバンなどで消毒しておきます。
4. 患者の便で汚染された衣類などは、アルコールスプレーの噴霧などを行ったうえで、家族のものとは別に洗濯し、天日で十分乾かしてください。
5. 患者がお風呂を使用する場合には、混浴は避けるとともに、その後に乳幼児の入浴はさせないでください。
6. かかった人はなるべく外出しないこと

ノロウイルスについて

1. 急性胃腸炎、すなわち吐き気、嘔吐、下痢、腹痛など（発熱は軽度）を起こすウイルスの一種です。
2. 貝などの二枚貝に含まれることが多く、これらの生、または不十分な加熱調理で食べて感染します。
3. 潜伏期間（感染から発病までの期間）は24～48時間で、普通は発病後1～3日で治癒します。
4. 特に冬季に多く発生し、感染力が非常に強いため集団感染を引き起こすことがあります。感染した人の便や吐物に汚染された手や食物を介して感染します。
5. 診断は、便や吐物の検査でウイルスを検出することによります。

…来月に続く。